

# 厚生労働大臣杯争奪 第66回全日本実業柔道団体対抗大会実施要項

1. 日 時 平成28年6月11日(土) 9時00分選手集合、9時30分開会式、終了次第試合開始  
平成28年6月12日(日) 9時30分試合開始、14時30分大会終了予定
2. 会 場 KIRISHIMA ツワブキ武道館  
〒889-2151 宮崎県宮崎市熊野 2206-1(県総合運動公園内) TEL:0985-58-5151
3. 主 催 全日本実業柔道連盟
4. 主 管 西日本実業柔道連盟・宮崎県柔道連盟
5. 後 援 厚生労働省・(公財)全日本柔道連盟・(公財)講道館・読売新聞社・宮崎県・宮崎県教育委員会  
( 予 定 ) 宮崎市・宮崎市教育委員会・(公財)宮崎県体育協会・(公財)宮崎市体育協会・宮崎日日新聞社  
NHK宮崎放送局・MR T宮崎放送・UMKテレビ宮崎・(株)FM宮崎・宮崎商工会議所・  
(公財)宮崎観光コンベンション協会・(公社)宮崎県柔道整復師会
6. 資 格 (1)参加チームは、全日本実業柔道連盟に加盟し年会費を納めた会員であること。  
(2)参加チームは、会員及び事業所単位とし、男子1部は1社2チームまでとし、第2部、第3部は3チームまで参加を認める。  
(3)参加選手は、(公財)全日本柔道連盟に登録した者であり、全日本実業柔道連盟に加盟している会員に在籍し、選手登録をしている者であること。
7. 参加申込 全日本実業柔道連盟ホームページ (<http://jitsujuen.jp>) からお申込み下さい。  
(1)申込期日：平成28年4月18日(月)必着  
(2)問合せ先：西日本実業柔道連盟 E-mail:nishijitsu@basil.ocn.ne.jp TEL:06-6582-5412
8. 参加料 男子の部(各部共通)は30,000円/1チーム、女子の部は第1部30,000円/1チーム、第2部15,000円/1チームとする。  
振込先：三井住友銀行 本店営業部 普通 9071854「全日本実業柔道団体対抗大会事務局」  
(注)参加費は参加申込と同時に上記口座に振込むこと。振込みが確認できない場合は、大会の参加は認められない。また、振込みは必ず会員名ですること。  
なお、組合せ抽選終了後の参加辞退チームの参加費は返金しない。
9. 試合種目 男子の部は第1部・第2部・第3部、女子の部は第1部・第2部とする。  
第1日目 6月11日(土) 男子の部 第3部、女子の部 第1部  
第2日目 6月12日(日) 男子の部 第1部・第2部、女子の部 第2部  
※開催地宮崎県から特別参加として男子の部は第3部、女子の部は第2部への出場を認める。  
[男子の部]  
(1)第1部は12チーム、第2部は32チーム以内とし、それ以外を第3部とする。  
(2)本大会の試合成績により該当チームの昇・降格を行い、次年度に出場できる各部を次により決定する。  
①第1部の1回戦で敗退した4チームは次年度第2部に降格する。  
②第2部の上位4チームは次年度第1部に昇格する。但し、第1部に既に1社2チームが存在する場合は昇格しない。下位4チームは次年度第3部に降格する。下位4チームは1回戦で敗退したチームの中から抽選を行い決定する。第2部が32チームに満たない場合には、そのまま第2部に出場する場合がある。  
③第3部の上位8チームは第2部に昇格する。  
(3)チーム編成は、第1部は監督1名・選手7名・計8名、第2部および第3部は監督1名・選手5名・補欠2名・計8名とする。  
(4)第1部にエントリーするチームは、本要項「7. 参加申込」時点において5名以上の選手が揃っていないなければならない。また、第2部および第3部は、補欠を除く全員が揃っていないなければならない。  
(5)試合方法は各部とも、チーム5名による点取り試合とする。  
(6)選手配列は、第1部に限り試合毎に変更することができる。第2部・第3部は、参加申込以降は順位の変更を認めない。  
[女子の部]  
(1)チーム編成は、第1部は監督1名・選手57kg以下3名・70kg以下3名・無差別2名・計9名、第2部は監督1名・選手57kg以下1名・70kg以下1名・無差別1名・補欠2名・計6名とする。  
(2)第1部にエントリーするチームは、本要項「7. 参加申込」時点において、各階級に最低1名以上の選手が揃っていないなければならない。また、第2部は補欠を除く全員が揃っていないなければならない。  
(3)試合方法は、体重別に編成されたチームによる点取り試合とする。  
(4)選手配列は、第1部は57kg以下2名、70kg以下2名、無差別1名の5名とし、各体重区分の中で試合毎に自由に変更することができる。試合当日に選手が事故のため出場不可能となるか、体重区分どおりに5名のチーム編成が組めない場合に限り、体重区分の軽い選手が重い体重区分への出場を認める。但し、一度移動した選手は元の体重区分へ戻ることはできない。また、無差別に登録した選手についての移動は認めない。

第2部は57kg以下1名、70kg以下1名、無差別1名の3名とし体重別に配列する。  
(5)計量〔公式計量〕6月10日(金)16時00分から16時30分(女子の部・第1部)  
6月11日(土)16時00分から16時30分(女子の部・第2部)  
〔計量場所〕大会会場内 剣道場

両日とも15時30分から16時00分までを予備計量とし自由に計測することができる。

10. 審判規程 (1)国際柔道連盟試合審判規程による(2014-2016)。  
(2)優勢勝ちの判定基準は「有効」または「僅差」以上とする。  
※僅差は「指導差が2」以上、「指導差が1」は引分。  
(3)「技の内容」と「指導」の重み。  
※【一本勝=反則勝>技有>有効>僅差】の順とする。
11. 試合方法 (1)トーナメント方式で行い、各部ごとに「優勝」「準優勝」「第3位」を決定する。女子の1部については参加チーム数によりリーグ戦で行なう場合がある。  
(2)チーム間の勝敗は次により決定する。  
① 勝者数の多いチームを勝ちとする。  
② ①で同数の場合は1本勝、不戦勝ち、棄権勝ち、相手の反則負けによる勝者の多いチームを勝ちとする。  
③ ②で同数の場合は、「技有」による勝者の多いチームを勝ちとする。  
④ ③で同数の場合は、「有効」による勝者の多いチームを勝ちとする。  
⑤ ④で同数の場合は、任意で選出した選手による代表戦を行う。代表戦は「指導差が1」でも勝敗を決する。時間内に勝負が決しない場合は、時間無制限によるゴールデンスコア方式によって勝敗を決する。先に「有効」以上の技評価を得た選手が勝ちとなり、先に「指導」を与えられた選手が負けとなる。  
(3)リーグ戦における順位の決定について  
① チーム間の勝敗において、勝数の多いチームを上位とする。  
② 勝数が同数の場合は負数の少ないチームを上位とする。  
③ ②で同一の場合はリーグ戦中の個人の総勝数の多いチームを上位とする。  
④ ③で同一の場合は負数の少ないチームを上位とする。  
⑤ ④で同一の場合は勝数の内容により決定する。  
⑥ ⑤で同数の場合は、トーナメント戦同様で任意選出した選手による代表戦を行う。  
(4)試合時間は4分、但し「男子第1部」のみ5分とする。  
(5)ゼッケンについて  
①布地は白色とし、苗字を上部2/3、チーム名を下部1/3に男子は黒文字、女子は赤文字で記載する。サイズについては縦25cm~30cm、横30cm~35cmとすること。  
②縫い付け位置は後襟から5cm~10cm下部に縫い付けること。
12. 審判員 (1)審判員は全日本実業柔道連盟の委嘱による。  
(2)審判員会議を6月11日(土)、12日(日)両日とも8時45分~9時15分に大会会場内会議室にて行う。
13. 表彰 (1)優勝チームには、優勝旗・優勝杯・賞状・賞品、第2位および第3位チームには賞状・賞品を授与する。ただし、出場参加数により変更する場合がある。  
(2)男子第1部、女子第1部の優勝チームには、厚生労働大臣杯を授与する。  
(3)優秀選手には、優秀選手賞(男子の部 各部5名、女子の部 各部3名)を授与する。
14. 抽選 4月23日(土)13時から近畿通関(株)思道館において主催者立会いのもと「大会組合せの抽選とシード基準」に則り厳正に行う。
15. 選手変更 6月10日(金)15時から16時00分まで、大会会場内会議室で受付ける。  
男子の部は登録選手以外からの変更は最大2名とする。その際、選手に欠員が出た場合は補欠員を充当し、補欠員が欠員となった時は登録外の選手を充当する。また、同一会社であっても部内外間の選手の入替は認められない。女子の部の選手変更は自由とする。
16. 練習会場 6月10日(金)11日(土)とも13時~17時まで大会会場内柔道場とする。
17. 監督会議 6月10日(金)16時45分から大会会場内会議室において行う。
18. 開閉会式 (1)開会式は柔道衣を着用し、全員参列すること。  
(2)表彰式・閉会式は入賞チーム及び優秀選手全員が柔道衣を着用し、参列すること。
19. 宿泊等幹旋 宿泊・交通機関・弁当(大会当日)の幹旋を希望するチームは、直接幹旋団体へ申し込むこと。
20. 傷害保険 本大会において当連盟は傷害保険(死亡、後遺障害、入院に適用)に加入する。但し、試合中の傷害に対する補償のみとする。また、通院の補償には適用されないので各社又は各人は自己責任にて必ず傷害保険に加入すること。
21. 特記事項 (1)本大会では「試合場におけるコーチの振る舞いについて」及び「脳振盪対応について」平成24年4月1日付け全日本柔道連盟通達(別添参照)を適用する。  
(2)大会で撮影された写真、映像の肖像権は主催者、共催者に帰属する。  
(3)柔道衣は平成29年度より全日本柔道連盟柔道衣規定に合格した柔道衣を義務付けることとする。

以上